

八基小学校 教科名 (国 語)

読解力、思考力、表現力の育成

1 ねらい

- 読解力を身につけ、自らの課題解決に向けて努力し、自分の考えをまとめる活動を通して表現力を高める。

2 取組概要

- (1)小学生新聞を活用した国語科の短作文の指導。
 - ア 新聞記事を読んで、自分の考えをまとめる。
 - イ 自分の考えを発表し、伝え合う。
 - ウ 社会に目を向けよう『小学生新聞の常設コーナー』の整備。
- (2)授業中における「作業（書く等）時間」の十分な確保。
 - ア 教えるべきことはしっかり教え、考えさせるべきことは十分に時間を確保する指導方法の確立。
 - イ 作業時間や考える時間を確保した1単位時間の授業の実践。
- (3)小黒板やICTの効果的な活用。
 - ア 自分の考えを整理し、まとめ、自分の意志や思考をわかりやすく相手に伝えることができるように発表黒板（小黒板）を積極的に利用する。
 - イ ICTを活用することでよりわかる授業の実践。
- (4)日課表の工夫で、業前(朝の活動)の充実。『朝読書と漢字検定』
 - ア 読解力向上の一環として、週3～4回の朝読書（朝の15分間一斉読書）を実施。各教室にある書棚や図書室の本など、各々が読みたいものを読んでいる。
 - イ 読解力向上の一環として、月1回程度（年間10回）、自作の漢字検定を実施。小学1年生レベル～中学3年生レベルまで12級～6段までの18階級に分かれ、児童はそれぞれの実力に合った等級のテストを受ける。満点を合格とし、合格できなかった場合は、児童の得点や意欲に応じ同じ等級の再チャレンジか変更かを担任がアドバイスする。
- (5)夏季補習（算数・国語）で、表現力の育成。『短作文で発表会』
 - ア 表現力向上の一環として、夏季休業中に6日間実施。基本的に全児童対象で、いつも通りの登校時刻に通学班で登校する。
 - イ 午前中の半分が夏季補習で、半分がプール指導になっている。学年に応じた様々な設定で、20分程度「文作り」をし、皆の前で作文を読み上げる「発表会」を20分程度実施する。



【いつでも読める、小学生新聞を常設】



【小黒板を活用して自分の考えをまとめる】



【朝読書で静かな学校活動が始まる】



【自主性を伸ばす漢字検定】

3 成果

- 朝読書と漢字検定で、語彙量が増え、読みが深まっている。
- 小黒板の活用など、児童が興味関心をもつ学習活動を工夫したことで、意欲的に学習し、考えたことを工夫してまとめるようになった。
- 初めは、書くことがわからなかったが、どのテーマに対しても、自分の考えを持てるようになった。自ら考える時間を十分にとり、じっくり考えると、思考に深まりがでて、表現力が向上している。



【夏季補習、短作文で発表会】